

ANGELO★2019オフィシャルチームガイドライン

Angelo★ではチーム活動を通してチームを組む事で出来る様々な経験を子ども達にさせて行きたいと考えております。

チーム活動を経験して来た方も初めてされる方も知らない事や不安な事もあるかと思えます。

様々な家庭環境の生徒同士、保護者同士がより良い関係性を作って行く為にANGELO★では様々なスポーツの分野の方が参考にされている「メンタルトレーニング・応用スポーツ心理学研究会」の資料を元に保護者の皆様をお願いをまとめさせて頂きました。

ちょっと内容が多いですが、チームへの参加を考える上でとても大切な事なので必ず最後までご確認ください。

1. 親御さんにやってほしいこと(考えてほしいこと)

- ・子供のダンス参加と一緒に喜んで喜ぶ事、しかし親が前面に出過ぎないこと。
- ・子供の練習や本番を楽しむ事、しかし親の不快感を子供のせいにはしないこと。
- ・あくまでも「主役は子ども」と言うことを絶対に忘れないで下さい。

2. 先生・スタッフと一緒にやりましょう!!

- ・コーチングは先生・スタッフに任せてください。

(スタジオや本番会場などで、自分の子供だけをコーチ、アドバイス、叱咤激励したり、技術面や戦術面さらにメンタル面についても相談なしで指導しないこと。気になる事がある場合は先生またはスタッフに必ず相談してください)

- ・子供についてのコミュニケーションを先生・スタッフと取りましょう。

子供について 親もコーチも互いに情報を交換し学ぶことができます。

(ダンサーとしての子供の意識、考え、態度、能力などの部分や、家庭における子供としての部分などの情報交換が必要です。)

- ・子供の練習に良い影響のある言葉を家庭で使いましょう。(結果だけを話すのではなく「今の努力があなたの将来のためになるのよ」といったポジティブで希望の持てる発展的な言葉や会話の仕方をプラス思考です。)

子供の練習における過程<プロセス>を大事にする。親がいい意味でのサポートをし「後押しをしているよ」という態度や雰囲気作りをしましょう)

- ・子供の進歩や上達について先生やスタッフに聞いてください。

(これは親が知っておくべき事であり、目標に向かって努力しているプロセスを大切にしてください。)

3. 子供に対してやってあげてほしいこと

- ・子供に対するガイドラインを準備すること、しかし押しつけとなるプレッシャーをかけないこと

(子供にしてあげられるサポートをご理解下さい。これだけやってあげているのだからあなたもこれをしなさい、というようなプレッシャーを子供に対して与えないでください)

- ・子供がときどきは練習を休む必要がある場合があることを理解してあげてください。

- ・子供に対してユーモアのセンスを持ち続ける事。親が楽しんだり、笑ったりすれば子供も親に続くでしょう

(親が心の余裕を持って子供に接することで、子供の心にも余裕や楽しむ気持ちを持たせることができます。)

- ・子供に公明正大な愛を注いであげてください。結果に関係なく子供を愛すること。

(自分の子供だけでなく他人の子供や、兄弟なども含めて平等な目で見接すること。

レベルや活躍する子供、他人と比較したりしないで、その子供の努力に目を向けること。)

4. 他の親と共謀してやってはいけないこと

- ・他の親に敵を作らない事(これは、親同士で文句を言いあったり、いくつかのグループを作り、いがみ合ったり批判しあって、子供のサポートどころか、先生や子供まで巻き込んで泥沼状態にしてしまう親がいることから出てきたものです。

親がレッスン<子どもや先生>にすべきことはポジティブなサポートだということを忘れないで下さい。

何か問題が起きた際は時間をかけてでも先生やスタッフと相談しながら解決して行く事を心がけましょう!

5. 先生に対してやってはいけないこと

- ・先生に対して、自分の子供の売り込みや、自分の子供の立ち位置など個人的な押し付けや要求をしないこと。

(先生は、クラス全員の実力、努力、意欲、態度などを総合的に判断しています。先生の指導や作品構成などは、

全体を見て考えているものだと言うことをご理解下さい。疑問に思ったことなどあった場合は先生・スタッフに直接相談しましょう。)

6. 子供に対してやってはいけないこと

・レッスンやコンテストで、子供がする非常識な行動を無視しないで下さい。

(練習における団体行動、先生・スタッフや他の保護者に対する態度、チームメイトに対する態度や考え方などで見られる非常識な行動を、公明正大にアドバイスしてあげてください。勝てば、上手ければ、強ければという態度や考え方を親がすると、子供が感化される恐れがあります。人間としての健全な成長という大きな考え方をして子供をサポートしましょう)。

・本番が終わってすぐに子供と話をしたり、何かを聞かないようにしましょう。

(チームの解散が終わるまでは、先生・スタッフの役割分担の時間です。また、子供同士や先生との喜びや反省など、ダンサー(子ども含む)だけの世界があり、そこに土足で踏み入るような事だけは避けましょう。本番後に、親が意見や批評などをしたり、子供自らの反省や喜びに水をささない事も、子供をよい方向に育てる重要な点です。チームが解散して帰宅した後に、子供から話しかけてきたら、会話をするくらいの余裕を持ってください)。

・子供の練習や本番を見ながらマイナスの態度や感情を子供に見せないようにしましょう。

(ダンスにおいて、ミスは当たり前であり、このミスから学ぶべきものが多いこと、ミスからの気持ちの切り替えや前向きなチャレンジ精神が子供の人間的成長に大きな影響を及ぼすことを理解して下さい。本番でミスをしたら、自分の欠点がわかったよね、ぐらいの大きな気持ちで接しましょう。親のマイナスの態度が子供に不安を与え、本番や練習に集中できないマイナス思考の考えを持たせることにつながります。

これは言葉を使わない「ノンバーバルコミュニケーション」というスキルで、コミュニケーションの70%を占めるほど重要なスキルです。

親が子供にいいサポートをするためのスキル{技能}として身につけてほしいものです)。

・子供が最高の努力をすると期待しないでください(自分の子供が、親の考える理想通りに行動すると思わないこと。

努力をするかどうかは、子供のやる気や気持ち、考え次第であり、理想と現実のギャップがあることも理解しておいてください)。

・親としての最低限の管理

スタジオやイベント時に他のご家庭の方や先生にお世話になることも多いと思います。

どんな事でもお世話になった人に対して「ありがとう」と言う言葉を伝えるのを忘れないようにしましょう。

スタジオに気持ち良く通うためのルール・色々なご家庭がいる空間だということを理解しましょう!

一人で通う子、送り迎えをしてもらえる子など様々です。何か気になることがある場合は先生・スタッフに相談しましょう!!

・スタジオ内での言葉遣いには気をつけましょう!!

自分の子供だけに言っているつもりでも、周りの子ども達も聞いていることを忘れないで下さい。

・レッスンに関係ないゴミは極力持ち帰りましょう。

長時間に及ぶレッスンのためのお弁当のごみ等は良いですが、レッスンに参加する子どもに直接関係のないゴミなどはお家に持って帰って分別して捨てさせましょう!!

・初級から中級へ、などそのクラスのメンバーを決めるのは先生とスタッフだということをご理解下さい。

「誰々がどのクラスに上がった。下がった」「うちの子上がったんです」そう言った話は子どもたちにとっても保護者同士の関係にとっても必要な事ではない事をご理解下さい。

・スタジオに顔を出せる保護者の方もいれば、中々出せない方もいるかと思えます。

様々な家庭環境の子ども達が集まり一つのチームになる事をご理解下さい。

子どもも保護者もお互いを尊重し合えるチーム作りをして行きましょう。

最後までご確認頂きありがとうございます。

オフィシャルチームを担当する先生、スタッフ、そしてこの長いガイドラインを最後までお読み頂いた保護者の皆様で協力し尊重し合い、子ども達により良いダンス環境を作って行けたらと思います。

ANGELO★としてもまだまだ未熟で至らない点も多く、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしてしまう点もあるかと思いますが、

何か疑問に思ったり不安に思ったりした際は是非遠慮せずスタッフまたは先生にお伝え下さい。